

瀬戸南高校図書館レイアウト変更

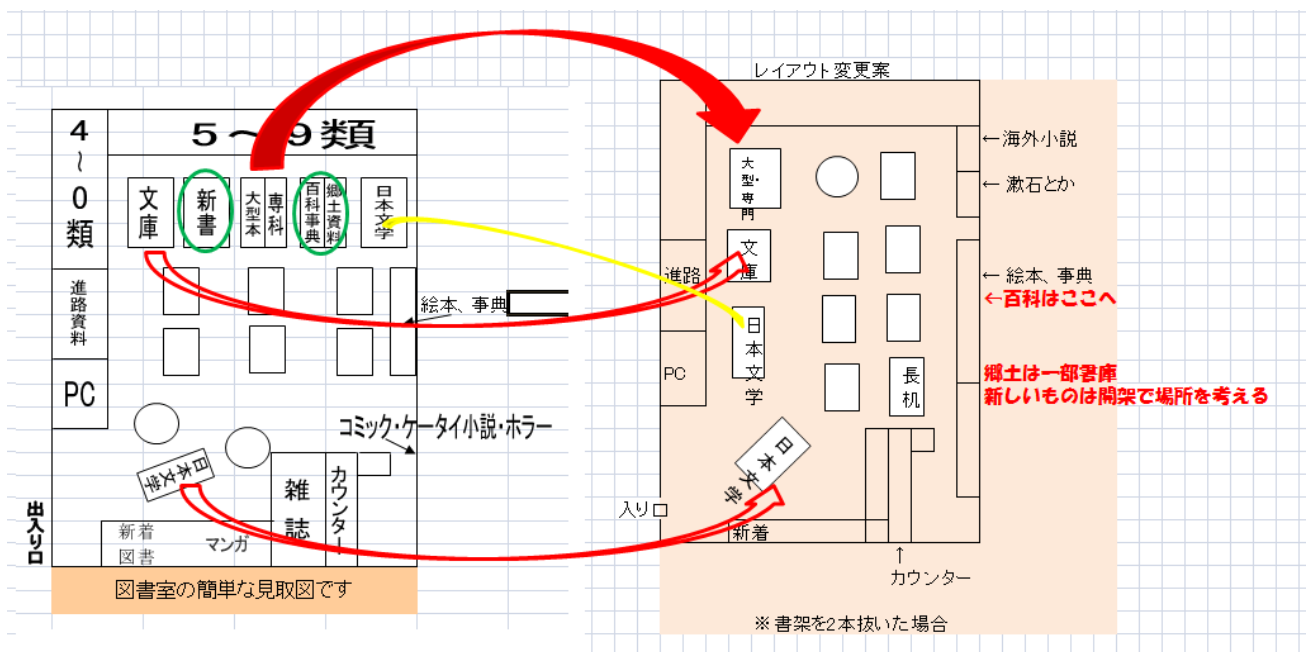
1. レイアウト変更のコンセプト

- ・生徒が使いやすいレイアウトにする
- ・古く、狭い図書室なので生徒が少しでも来てくれるように 明るく使いやすい図書室にする

2. 役割分担

- ・3グループに分かれ、スタート。その後は流れで臨機応変に対応
 - ・第2回担当校：書架移動チーム（残す書架の移動）
 - ・第3回担当校：混配チーム（廃棄書架の本を、壁面書架（書庫）に混配。廃棄図書の抜き出しも）
 - ・第4回担当校：書架廃棄チーム（廃棄書架を廊下に出す）

3. レイアウト変更計画

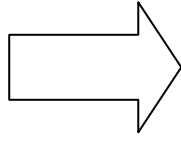


4. 変更の様子

- ・計画ではフロア書架を縦に並べる予定だったが、現地で作業をする中で、やはり奥に横に並べるのが良いだろうということに。変更前から書架を2本抜くことで、余裕のある配置にすることができた。
- ・それに伴い、入口付近の日本文学は図書館の奥へまとめることに。文庫からの動線、日本文学と海外文学とのつながりも生まれた。
- ・カウンターや雑誌架を移動させることは予定していなかったが、急遽移動させ、開放的なカウンターへと変更。視界を遮っていた雑誌架は窓際に移動。
- ・雑誌・マンガのブラウジングコーナーを作成。文庫書架を区切りにすることで、授業利用時の閲覧席との空間を分けることができ、生徒も授業に集中できるはず。
- ・抜いた書架2本のほかにも、司書室・書庫の不要書架を廃棄。
- ・一部資料を書庫入れ。不要資料は除籍。



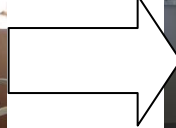
入口から見た様子。カウンターは雑誌架の裏。入口からの視線を遮り、カウンターに司書がいるのかわかることができない。



カウンター・雑誌架の位置を動かすことにより、入り口から司書の姿を見ることができ、声をかけやすい雰囲気になった。



カウンターから館内を見た様子。奥の書架の間隔が狭いため本を探しにくく、利用もしにくい。



奥の書架を2本減らし間隔を広げることで、ゆったりとした雰囲気になり利用しやすくなった。



カウンター前には、高さの合った低書架を置くことで、カウンターの古さを消している。この書架は生徒から一番目に入りやすい。人気の本を。



雑誌架を窓際に移し、左側には文庫書架を区切りとして置くことでブラウジングコーナーを。